

【自己紹介】

名前：薄井秀明（うすい ひであき）

年齢：53歳（3月現在）

前職：某自動車メーカー勤務 デザイン部にて34年間モノづくりに従事する

【目的・目標】

34年もの造り職人をしてきた知識と経験を活かして

- ・神山杉を使用した木地師（ロクロを使用した器づくり職人）になる為の修行
- ・自分達で製作した木の器に最終コーティングする塗装職人としての修行

神山町の山改善活動

- ・神山しずくプロジェクトとして神山の山改善事業に参加して、山の保水改善を主軸とした生物多様性活動にて神山の現状と改善活動を知ってもらいながら、賛同してもらえる仲間を募り専門家を招きながら皆で実際に山に入り（上分地区にて年数回ワークショップ開催）試行錯誤での活動。

—目標—

鮎喰川の水量回復を最終目的とした針葉樹ばかりしか無い山の問題点を改善する。

その方策の一つとして伐採されない杉を使った器造り（木地師修行）。

そして「神山」と「神山杉」をもっと知ってもらえるお手伝い。

【今年度の取り組み】

—木地師修行—

世間では器に使うには柔らかいのでタブーとされロクロ挽きには困難とされている杉を使用したロクロ挽き作業及び自分で鍛冶しながら刃物製作。

- ・材の確保と製作（乾燥期間約2年）

実際に山に入り原木伐採作業と製材作業に従事。自らの材は自ら製作する。

- ・杉の器は柔らかく衝撃に弱いので最終的に自分でコーティング塗装を実施
- ・工房の古い木工機械類の保守点検及び改良を自ら実施

—山改善—

上分地区にて山の現状把握をはじめ改善策の模索の実施

- ・「しがら組み」にて保水の改善
- ・「土留め」での大雨による斜面崩れ改善
- ・広葉植樹
- ・U字溝撤廃による「せせらぎ造り」での排水改善

【次年度以降の展望】

・ 木地師としての修行継続

造れる種類の増加を目標に現状作業の精度向上を主とした品質向上及び製作工数の短縮を目指す。

その為には切れる刃物の製作は必須なので「鍛冶熟練修行」も並行して継続実施。

・ 山改善

神山しずくプロジェクトとしてのワークショップを主とした生物多様性活動に参加。

自分が移住した家周辺の持ち山での家族でのリアル生活を通しての改善活動。

最終的には現状より「神山」「神山杉」「神山しずくプロジェクト」の認知度向上に貢献

* 活動内容及び詳細は当社 HP 参照下さい。

<https://shizq.jp>

